



「消費者の部屋 夏休み特別講座 親子見学バスツアー」を 開催しました！

沖縄総合事務局では令和7年8月12日、小学生を対象に「消費者の部屋 夏休み特別講座 親子見学バスツアー」を開催し、牛乳工場及び牧場を見学しました。

当日は、親子6組、合計15名の方にご参加いただきました。沖縄県酪農農業協同組合の方から「乳牛の一生について」のご説明をいただいた後、(株)沖縄森永乳業の工場ではVTRで生乳搬入から製品出荷までの工程の説明を受け、製造工程の見学を行いました。参加者からは「成分無調整牛乳とは何か」との質問や「牛乳等の製品が安心、安全に消費者へ届くよう管理されている」との感想も聞かれました。

午後は、南風原町の赤嶺牧場で搾乳牛の見学を行いました。牧場の方から「牛が牧草を食べやすいように牧草の長さをカットしたり、牛の暑さ対策として牛舎の屋根に複数の大型扇風機を設置している」旨説明がありました。参加者からは「1日に何回乳を搾るのか」などの質問があったほか、「牛ごとに表情が違う」、「暑い中でもエサをたくさん食べてくれている。これからも牛乳を大事に飲

んでいきたい」などの感想が聞かれました。

今後も農林水産業に関する情報発信をしていきますので、当局HPや当局公式SNSもご覧ください。



工場見学の様子



沖縄県酪農農業協同組合職員の説明



牧場見学の様子

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672



「特定家畜伝染病防疫 作業説明会」を開催しました！ ～鳥インフルエンザなど 家畜の伝染病の発生に備えて～

伝播力の強い高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの特定家畜伝染病が発生した場合は、迅速な初動防疫によりそのまん延を防ぐ必要があります。

沖縄総合事務局では、特定家畜伝染病の発生に備え、農林水産部の職員を対象に、発生農場で実施する防疫作業についての説明会を開催しています。今年は8月8日に、農林水産省動物検疫所沖縄支所、沖縄県畜産課から講師を招き、国外から家畜の伝染病の侵入を防ぐ動物検疫所の取組や、特定家畜伝染病が発生した場合の初動防疫について説明いただきました。

また、防疫作業を実施するに当たり、発生農場から病原体を持ち出すことがないよう、防護服の着脱についての演習も実施しました。参加者からは、「防護服を着用すると体の動きに制限がかかる」、「着脱に思ったより時間がかかる」、「事前に着脱を体験できてよかった」等の感想がありました。

今後も、関係機関の協力により初動防疫の理解を深めるとともに、特定家畜伝染病が発生した場合は適切

に対応してまいります。



動物検疫所の取組等について受講



防護服の着脱演習

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672